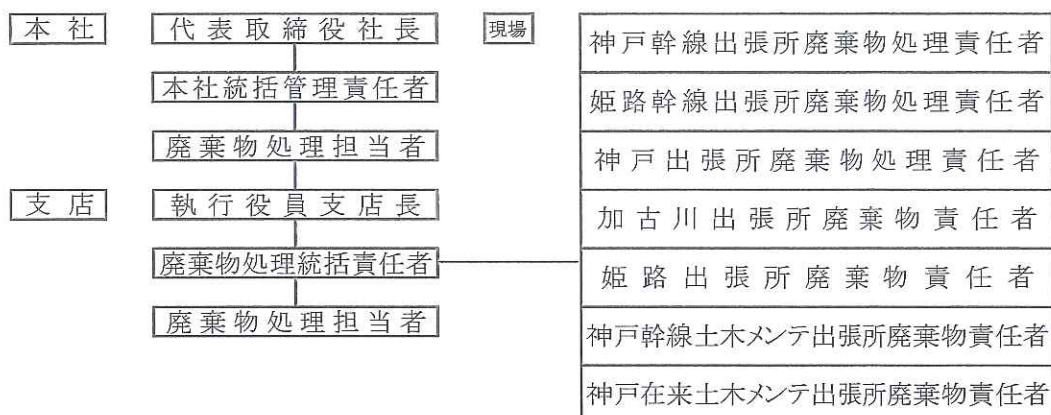


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成26年 6月20日	
兵庫県知事 殿	提出者 住 所 神戸市中央区中町通2丁目1番18号 日本生命神戸駅前ビル8F 氏 名 大鉄工業株式会社神戸支店 常務執行役員支店長 大嶋 清司 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 078-362-8777
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大鉄工業株式会社 神戸支店
事業場の所在地	神戸市中央区中町通2丁目1番18号 日本生命神戸駅前ビル8F
計画期間	平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	一般土木建築工事業(0611)
② 事業の規模	67億円
③ 従業員数	129人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	① 旧構造物撤去工 がれき類、木くず、廃プラスチック、金属くず ② 除草伐採 木くず ③ 構造物修繕(劣化材量取替) がれき類、廃プラスチック、木くず ④ 排水溝浚渫他 汚泥、がれき類 ⑤ 軌道材料交換 がれき類、木くず、廃プラスチック 発生した廃棄物は、各々収集運搬業者及び処理業者に委託して処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 状況	【前年度 (25 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 発生の抑制を考慮した工法の選定や工程等を検討した。 材料搬入の際メーカー等に簡易包装化を要請し、工事現場のスペースにもよるが分別保管を行うよう努めた。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 現在の取組を更に進めていき、発生量の抑制、分別回収、再利用率の向上に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリートガラ、廃プラスチック、木くず等 出来るだけ廃棄物置き場で分別保管を行うよう努めている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別保管をより進める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 状況	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	全種別	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 現時点では自ら再生利用は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全種別	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用できるものは施主と協議し再生利用に努める。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 状	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	全種別	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 現時点では中間処理は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全種別	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) 現状のとおり			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 状況	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	全種別	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 現時点まで自ら埋立処分又は海洋投入処分は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全種別	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 状況	【前年度（ 25 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 優良認定された処分業者、リサイクル率の高い処分業者に委託するよう心掛けている。 今年度は姫路市優良認定処分業者1社に委託処理を行った。 (姫路環境開発)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>現状のとおり、リサイクル率の高い処分業者に委託するよう心がける。</p> <p>。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙（兵庫県）

現状 前年度(平成25年度)実績

【単位:t】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	ガラス・陶器類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	その他	
排出量	728.7	443.7	1.5	74.3	5.1	0.7	0.0	119.2	1,373.2

計画 目標

【単位:t】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	ガラス・陶器類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	その他	
排出量	700	400	2	70	5	1	0	100	1,278

作業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状 前年度(平成25年度)実績

【単位:t】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	ガラス・陶器類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	その他
全処理委託量	729	444	2	74	5	1	0	119
優良認定処理事業者への処理委託量	390	16	0	0	1	0	0	0
再生利用者への処理委託量	339	428	2	74	4	1	0	119
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
計	729	444	2	74	5	1	0	119

計画 目標

【単位:t】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	ガラス・陶器類	汚泥	廃プラスチック	紙くず	金属くず	その他
全処理委託量	700	400	2	70	5	1	0	100
優良認定処理事業者への処理委託量	350	15	0	0	1	0	0	0
再生利用者への処理委託量	350	385	2	70	4	1	0	100
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0
計	700	400	2	70	5	1	0	100